

サクッと日本遺産見学コース(高速バス利用者向け 日帰り)				
時間	場所	概要	備考	画像
11:57	鏡子駅停留所	鏡子駅の停留所で降車。 駅の中には観光案内所があるため、 そちらで観光情報を入手するのがオススメ!	鏡子観光案内所 営業時間 8:45~17:15 問合せ先 0479-22-1544	
11:57~12:05 鏡子駅 ⇒ 鏡子さかな料理 かみち (徒歩)				
12:05 ~ 12:50	鏡子さかな料理 かみち	<b>＜千葉ブランド水産物「鏡子つりきんめ」を堪能しよう!＞</b> 鏡子魚市場の入札棟を持ち、仲買人を通す事なく毎日水揚げされた地魚を直接仕入れ、調理しています。千葉ブランド水産物の「鏡子つりきんめ」を使用した『金目鯛づくし』は異なる5つの方法で調理しており、一度食べたら忘れられない味わいです。	平日 11:00~14:00/16:30~21:30 土日祝 11:00~21:30 (オーダーストップ 20:50) 木曜定休日 問合せ先 0479-22-5520	
12:50~13:00 鏡子魚料理 かみち ⇒ ヤマサ醤油工場				
13:00 ~ 14:15	ヤマサ醤油工場	<b>＜歴史と伝統を誇る醤油工場を見学＞</b> 鏡子の調味料が江戸の食文化を変えたとまで言われる鏡子の醤油醸造。江戸の発展を支える労働力であった「江戸っ子」には色・味・香りが良く、味付けの濃い「関東風の醤油」が好まれました。これが、蕎麦、てんぷら、鯉の蒲焼、寿司など今に続く江戸の食文化を花開かせました。 鏡子の醤油醸造は、元和2年(1616)に摂津国の酒造家の教示により飯沼村の田中玄蕃が、正保2年(1645)には紀州から移ってきた濱口儀兵衛が事業に着手しました。 明治維新後も鏡子のしょうゆ醸造業は発展を続け、現在は国内の5大メーカーのうちの2社(ヒゲタ醤油株式会社、ヤマサ醤油株式会社)があります。 ヤマサ醤油工場では、仕込蔵や詰工場などが点在する広い敷地内を見学することができるほか、「しょうゆ味わい体験館」では、せんべい焼きの体験コーナーや、ここでしか買えないお土産コーナーなどがあります。	<b>＜工場見学＞</b> 住所 鏡子市北小川町2570 映画上映 20分、工場見学 30分 受付は9:00~11:00、13:00~15:00(要予約) 問合せ先 0479-22-9809 ＜しょうゆ味わい体験館＞ ※ご予約なしで入場いただけます。 AM9:00~PM4:00 入場無料	
14:15~14:30 ヤマサ醤油工場 ⇒ 仲ノ町駅 (徒歩)				
14:30 ~ 14:50	仲ノ町駅	仲ノ町駅に隣接する車庫にはデキ3形電気機関車のほか、所属する車両が留置しています。車庫内の業務や列車運行の妨げとならない範囲で見学が可能です。	入場するには、仲ノ町駅で入場券(大人150円)を購入し、駅員に許可を得る必要があります。 また、夜間の入場はできません。 問合せ先 0479-22-0316	
14:53~15:10 仲ノ町駅 ⇒ 外川駅 (鏡子電鉄)				
15:10 ~ 16:10	「外川」のまち歩き	<b>＜古きよき漁師町の面影が残る町並みを散策＞</b> 外川(とかわ)は、万治元年(1658年)江戸時代の初期、紀州からやってきた崎山治郎衛門が築港しました。それに伴い、漁港に面した南斜面は、碁盤の目のように区画され、そこに紀州から呼び寄せた1000軒以上が住みつき、集落となりました。そして、築港から今日まで、鏡子の漁業発祥の地として栄えてきました。時代とともに、そこに住む人や建物が新しくなっていく中、ると目に飛び込んでくる懐かしい風景や、人々の姿が、あなただけの外川の魅力が発見できるでしょう。 また、昭和の懐かしいおもちゃ等がたくさん展示してある「京業東和薬品 昭和ノスタルジー館」や、漁師町外川の歴史が学べる「外川三郷土資料館」、豆乳プリンなどが人気の「柳原豆腐店」、千葉県指定伝統的工芸品の方杖式大漁旗を製作販売している「小澤染工場」など、観光スポットも盛り沢山です。	・京業東和薬品 昭和ノスタルジー館 住所 千葉県鏡子市外川町2-10636 営業時間 平日10:00~14:00 土日祝10:00~16:00 料金 入場料150円 問合せ先 0479-22-0364 ・外川三郷土資料館 住所 鏡子市外川町2-10610 開館時間 10:30~15:30 休館日 火・水曜日 問合せ先 0479-22-0575 ・柳原豆腐店 住所 鏡子市外川町2-10927 毎週日曜日営業時間 8:30~19:00 定休日 毎週日曜日 問合せ先 0479-22-9557 ・小澤染工場 住所 鏡子市外川町2-11061 営業時間 8:00~17:30 休業日 日曜・祝日 問合せ先 0479-22-2783	
16:12~16:15 外川駅 ⇒ 犬吠駅				
16:15~16:25 犬吠駅 ⇒ 犬吠崎温泉郷 (徒歩)				
16:25 ~ 18:00	犬吠崎温泉郷	<b>＜広大な海を見ながら入る天然温泉は心身ともに癒されます＞</b> 犬吠崎にある5軒のホテルでは、雄大な太平洋を眺めながら日帰り入浴ができます。	◇絶景の宿犬吠崎ホテル 11:00~21:30 大人1,200円、子供800円 (土日祝は大人1,500円、子供1,000円) ◇ぎょうけい館 11:00~15:00 大人1,000円、子供500円 ◇ホテルニュー大新 11:00~20:30 大人1,080円、子供750円 ◇犬吠崎太陽の里 10:00~24:00 (土曜のみ10:00~翌8:00) 大人1,500円、子供650円 (土日祝は大人1,700円) ◇犬吠崎観光ホテル 12:00~20:00 大人1,000円、子供800円 (土日祝は大人1,200円、子供800円)	
18:12 犬吠崎停留所 チバストリー(匠蔵・旭まわり2便)乗車				